



視点

『企業の社会的責任（CSR）について』

北海道リコー株式会社 取締役社長 辻田 清

我々北海道リコーは、経営ビジョンとして、『お客様の価値創造』『会社の成長』『社員の成長』の同時実現に努め、お客様から『元気な会社』と言われ、『ずっと、いつも』ご相談いただける会社をめざします。又、具体的には、①誠実な企業活動を通じて、社会に貢献しつづける会社をめざします。②品質優先の経営で、お客様の価値創造に貢献します。③働きがいのある活気ある会社づくりに努めます。とうたっております。

勿論、会社経営の中で一番大事なことは、お客様に満足していただき、我々の提供するソリューションをご購入いただき、その対価として利益をいただくことと認識しておりますが、今回は、①の項目である、誠実な企業活動を通じて社会貢献しつづける会社をめざすということについて、お話したいと思えます。

昨今、新聞やTV放映などで、飲酒運転による交通事故死の痛ましさや、官民癒着の談合、個人情報の漏洩等が伝えられておりますが、このような社会規範として相応しくないことを、起こさないことは勿論、積極的に企業の社会的責任を果たすべく、我々北海道リコーは活動しております。CSR活動を実践するに当たり、まず、CSR活動の領域を設定することが大事です。その設定した、それぞれの領域において社員が自らの責任として自覚し、能動的に行動することです。

その果たすべき責任（三つの行動原則）は、『誠実な企業活動』を基盤として、その中でも重要である『環境との調和』『人間尊重』『社会との調和』です。それでは、弊社の具体的な活動をご紹介します。

『誠実な企業活動』について、行動規範とコンプライアンスの定着のために、DVDによる行動規範の教育とともに、毎月eラー

ニングによるコンプライアンス意識、啓発教育を繰り返し行っております。又、同様に個人情報保護法に対応した、eラーニングも毎月実施して、社員の意識向上を図っております。毎月繰り返し、eラーニングのチェックを受けることにより、自然と意識し、行動を規制していくように思います。これは、実感ですね。次に、『環境との調和』の活動について、ご紹介したいと思います。

01年度12月に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を習得しました。又、取得と環境活動の経験を生かして、お客様の環境マネジメントシステムの取得支援コンサルティングも実践しております。又、環境広場さっぽろ出展、石狩浜クリーンアップ活動、藻岩山清掃登山、釧路湿原クリーンウォーク、支笏湖畔植樹ボランティアなどのイベントに社員有志が参加し、『環境との調和』の実現をめざし、活動しております。次に『人間尊重』ですが、これは、公平で透明性のある人事処遇制度の導入（06年度も改革PGで推進）、社員の意識調査、定年後再雇用制度の導入、階層別教育の制度化など、様々な試みを実施し、社員一人一人が『やる気のサイクル』が回っている組織をめざしています。最後に『社会との調和』ですが、北海道リコーのホームページを介して、札幌市が主催する『環境教育クリック募金』や北海道警の『地域安全パトロール活動』に協賛、実践しております。このように全社でCSRを積極的に推進することにより、社員一人一人が地域社会と企業、環境改善活動と企業というなかなか意識して実践しないと出来ない活動を体験することにより、自社を誇りに思う社員が増え、『元気のいい会社』となるよう、これからもCSR活動を実践していきたいと思えます。